

全日本建設交運一般労働組合



全国酸素部会新聞



発行 建交労 全国酸素部会機関紙部
大阪府堺市西区石津西町1-2番

TEL 072-241-6660

メール zenkoku.sanso@gmail.com

HP <http://sansobukai.web.fc2.com>

2022年春季闘争!!!

全国酸素部会部会員のみなさん、2月9日(水)に統一要求一斉提出をおこない、2022年春季闘争がスタートしました。2020年から続くコロナウィルスの影響が長引く中、現在では「オミクロン株」が猛威を振るっています。2月10日には、東京都など13都県に適用されている蔓延防止等重点措置の対象地域拡大、期間も3月6日まで延長されることが決定されました。このような状況ではありますが、全国酸素部会2022年春闘方針及び2022年統一要求に基づき、全組合員参加の運動と国民共同を追求し強大な1000人酸素部会建設と一体のたたかいとして、トラック労働者とトラック産業の将来展望を切り開く春闘を全力で展開していきましょう。

大幅賃金引き上げをめざす春闘のたたかいでは、2022春闘方針に掲げられた大型トラック運転者年収700万円を目標に賃上げ交渉し、ベースアップを獲得しましょう。現在、部会員では再雇用者が増えています。高年齢者雇用安定法にもとづき交渉し、定年制を廃止するか定年年齢を公的年金支給開始年齢または65歳まで引き上げることや、雇用継続制度をとるところでは希望者全員70歳までの雇用継続をおこなうなど交渉し獲得しましょう。

コロナウィルスの影響で集中回答日の調整などもあると思いますが、2022年春季闘争において安全で安心して働ける賃金労働条件の確立、魅力ある職場を作り上げるため1000人酸素部会を目指し、全国酸素部会の仲間で一丸となり奮闘しましょう。

全国酸素部会事務局長 村上吉樹

一人ひとりの命が守られる社会へ 賃上げ・雇用を守る春闘を 展開しよう

集中回答指定日(3月末決着を目指す)

- 第1次回答日 2月24日(木)
- 第2次回答日 3月01日(火)
- 第3次回答日 3月09日(水)
- 第4次回答日 3月16日(水)
- 第5次回答日 3月23日(水)



エスイーイー物流分会

私共、エスイーイー物流分会は地元の福山地区労にも加盟しております。毎月一回幹事会を開き国内情勢、地区労関連の経過報告や予定、学習協議事項、単組交流を行っております。年金者組合、教職員、保育士、介護士、看護師、JR国労、元社保庁職員そして建交労の仲間と色々な職種の労働組合の人達と交流をしています。その職種の現状や苦労話など直に話を聞かないと伝わって来ない情報が多々有ります。



そして怪しまれずに女性の方たちと話が存分に出来ます。「別に酸素部会の集まりに華が無いという事を言っている訳ではありません。念の為に。」

自分が組合活動という物に携わっていなかったらこういう出会いや経験も出来なかったと思うし、何より酸素の素晴らしい仲間たちとの出会いも無かったと思います。

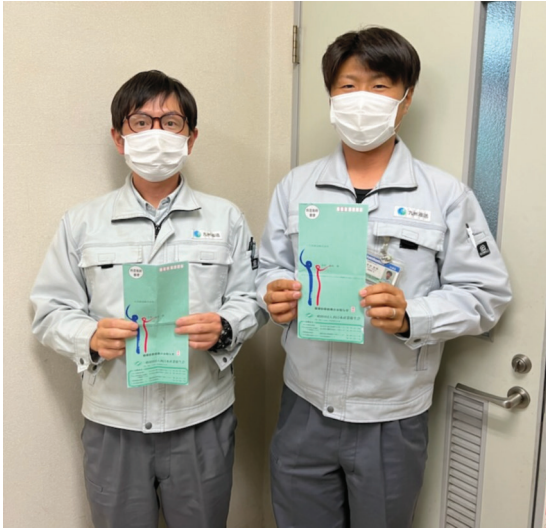
来月で私もいよいよ定年を迎え嘱託社員になります。あと何年建交労にいられるか判りませんが力の限り存在感を示したいと思います。その後は年金者組合で頑張ろうかな。

エスイーイー物流分会 佐藤正幸

人間ドックを受診してきました

今までは会社の方針として50歳になった年に一度健康診断の代わりに人間ドックを受診出来る決まりだったのですが、今年から受診する年齢のハードルが40歳に下がったので早速2人が前日受診してきました。

2人とも人間ドックは初めてだったらしく、結果が出るまでけっこう気になっていた様です。



いざ結果が出ると、多少の気になる数値はあったものの、まだ若いという事もあり特に再検査になる事なく良い結果で安心した様子でした。ただ気になる事が一点、一人が医師の問診の際に「睡眠時間が少ないので健康の為に7時間程度は睡眠をとられて下さい。」と言われたそうです。

確かにこの仕事は時差出勤で次の日の仕事まで時間にあまり余裕がない事が多々あるので、これが睡眠不足に繋がる原因だと十分考えられます。

今後は働き方改革の交渉に加えて、退勤から翌日の出勤までのあいだに一定時間の休息時間を設ける「勤務間インターバル制度」についても会社と話をしていきたいと思えます。

九州液送分会 田邊裕之

毎日の始業前点検で安全配送

日々の組合活動と配送業務お疲れ様です。

さて、最近大型車のタイヤ脱落事故が相次いでいるのをご存知でしょうか？先日も走行中の大型トラックから左後輪の2本のタイヤが外れ、このうち1本がおよそ500メートル転がり歩道を歩いていた男性に直撃し、大けがをしたとニュースがありました。

昨年度は131件起きていて、そのうちの95%にあたる125件が左後輪脱落の事故だそうです。

これは左折時に左の後輪がほとんど回転しない状態で曲がるため、タイヤがよじれて負荷が掛かるというのがありますが、2010年に「ISO方式」に切り替わったのが原因とも言われています。

以前は、左側は進行方向とは逆の左ネジだったのですが、新たなISO方式では左右輪とも右ネジになりました。この新方式を



採用したトラックの増加と比例するかのよう、脱落事故が増えています。

今一度運行前に点検ハンマーでナットの緩みがないか確認し、無事故の配送を行っていきましょう。

点検時のポイント

- ・手袋を外して、振動の確認を実施ください
- ・ナットは必ず締まる方向に叩いてください
- ・動が伝わりづらいので、ナットは強めに叩いてください

寿運送分会 本澤友樹